

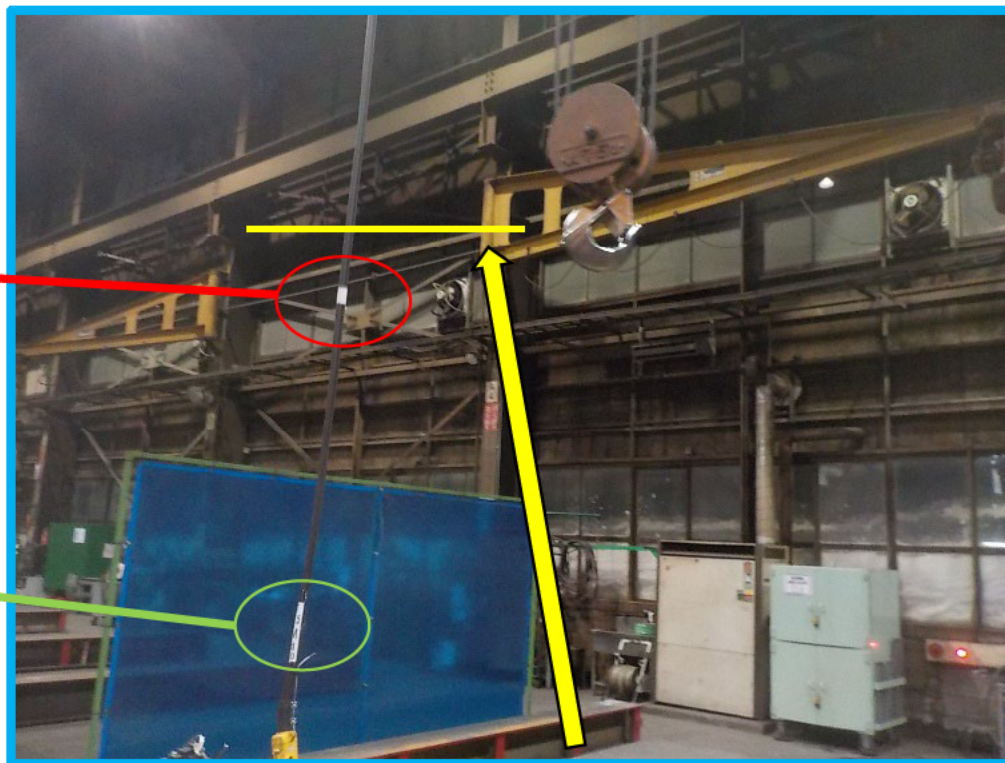
クレーン操作後のフック位置の「見える化」

通常、クレーン使用後のフック高さは2m以上だが、
製缶現場では遮光衝立に干渉しない2.5m以上まで上げる必要がある。
押釦ケーブルの2.5m位置に目印をつけることで
フックが衝立と干渉しない高さまで巻上げられたことが容易に確認できる。

白テープで2.5m高さの
位置に目印をつけた。



押釦付近に注意喚起表示



クレーンフックの高さが、一目でわかる。